

サービスラーニングを振り返って

社会福祉学部保健福祉学科 2年 鈴木 健人

活動先：NPO 法人 ぱお

クラス：野尻 紀恵 先生

1. SLを通しての自分の成長と気づき

サービスラーニングの6日間の活動を通して、たくさんのことを学び、気がつくことができた。

まず、子どもたちの柔軟な発想力に驚かされた。なぜかという、ツリーハウスのデザインを話し合いで決めるとき、子どもたちにもツリーハウスのデザインを考えてもらったのだが、私たち学生の考えたツリーハウスのデザインは、一般的に知られているツリーハウスとほとんど変わらないデザインだったのだが、子どもたちが考えてくれたデザインは一般的に知られているものではなく、さらに子どもたち一人ひとりが全く異なるデザインを考えてくれたからである。

次に、わからないことがあったり、壁にぶつかったときにすぐ人にわからないことを聞いたり、助けを求めるのではなく、まず自分で考えることの大切さを改めて学んだのである。人に聞いて解決した場合、記憶にあまり残らず、また同じような問題にあったとき、解決できないことが多いが、自分で最後まで悩んで解決した問題は強く記憶に残り、次に同じような問題にあっても解決でき、また、その経験が自分を成長させてくれるからである。

また、子どもたちを主体として活動することの大変さを学んだ。サポートに入ればそこまで危険ではない作業を、この作業は子どもたちには危険だと判断してしまい、私たちがやりすぎて、子どもたち主体ではなく、私たちが主体のようになってしまうことがあったからである。

そして、最終日に鶏を殺し、さばいて食べることにより自分たちがたくさん命をもらって生きているということ、命の重み、毎日食事ができることのありがたさを改めて感じさせられた。

サービスラーニング全体の活動を通して、多くのことを学ぶことができた。

まず、企画や目的をしっかりと考えることや事前に準備をしっかりとすることの大切さを学んだ。企画や目的をしっかりと考えていなかったり、事前に準備がしっかりできていないと作業が始められなかったり、作業効率が悪くなってしまい、計画どおりにいかなくなってしまふからである。私たちはツリーハウスを作る中で、必要な機材をホームセンターで買い、それを使って作業する機会が多かったがグループ内で連絡が不足し、必要な機材をホームセンターで買って準備することができず、計画からずれてしまい、作業の進行に大きな影響を与えてしまったので、事前の準備の大切さをとても強く感じさせられた。

それから、振り返りの大切さを学んだ。活動を振り返ることにより、自分の活動を見直すことができ、良かったことや悪かったことなどを反省できて、次に活かすことができるからである。そして、それらを考えることにより自分の成長に活かすことができる。

2. 活動を通して見えてきたもの

私たちがサービスマーケティングで活動させていただいた NPO 法人ばおは、常勤の方が 1 名しかおらず、常勤の方が地域の方の協力で、野外活動などを行うことができるが、人員に不安があるとおっしゃられていたので、NPO の活動を維持していくためには地域の方の協力が必要不可欠であるということがわかった。また、資金や人員も不足しており、ボランティアなども NPO の活動を維持する為には必要不可欠である。

私が思うに、社会活動とは地域をよくしようとする活動であれば、活動内容に決まりはないものである。

